



新潟市社協キャラクター きらりん

**白根ロータリークラブ様より 寄付をいただきました**



奉仕活動・寄付、友好事業等を地域で実践している「白根ロータリークラブ」様より、区内の障がい者団体と学童クラブに遊具や文房具などの寄付をいただきました。

1月30日(木)、サルナート吉運堂にて贈呈式が行われ、障がい者団体と学童クラブの代表である渋川博子氏とともに、田伏ロータリークラブ会長より目録を受け取りました。寄付先、寄付物品は以下のとおりです。ありがとうございました！

ふれジョブ みなSUN	アルバム20冊他
南区障がい者スポーツ大会	ビブス 25枚・ラインテープ
大鷲っ子クラブ (学童クラブ)	遊具 (カブラ・エアバッグ)
茨っ子クラブ (学童クラブ)	文房具・サッカーボール他

**みんなの善意をありがとう♪**



1月31日(金)、白根第一中学校と、白根小学校・小林小学校より アルミ缶回収で換金したお金で買ったドライヤーなどの寄付をいただきました。

白根第一中学校のボランティア委員会が、同じ学区の2つの小学校に協力を呼びかけ「小中連携ボランティア」として、計3万3千円を集めてくださいました。南区社会福祉協議会に、生徒と児童の代表約20人が来所し、ドライヤーや電熱器(水を適温に温める機器)などの贈呈が行われました。デイサービス等で、大切に使用させていただきます。ありがとうございました！



《第24号のメニュー》

【1頁】

- 白根ロータリークラブ様より寄付をいただきました
- みんなの善意をありがとう♪
- 南区社協事務所移転のお知らせ

【2頁】

- 南区地域福祉推進フォーラム

【3頁】

- 福祉学習支援ボランティア講座
- 災害ボランティアセンター設置訓練
- おひとりさまのクッキング教室

【4頁】

- 子育てサロン交流会
- 元気力アップ・サポーター募集
- ボランティア伝言板

**4月1日(火)から新事務所にて業務開始します。**

下記事業所が旧白根健康センターへ事務所を移転します。

■所在地：南区上下諏訪木817番地1

(移転事業所)

- 南区社会福祉協議会  
 TEL. 025-373-3223  
 FAX. 025-373-6125
- 南区心配ごと相談所
- 南区ボランティア・市民活動センター  
 TEL. 025-373-3331  
 FAX. 025-373-6125
- 南区介護支援センター  
 TEL. 025-373-5650  
 FAX. 025-273-5775
- 南区訪問介護センター  
 TEL. 025-373-6122  
 FAX. 025-373-5775
- 地域包括支援センターしろね南  
 TEL. 025-373-6770  
 FAX. 025-373-6781



# 地域あんしん見守りフォーラムを開催

～高齢者の地域生活をささえるしくみづくり～



開会のあいさつをする田中会長

3月15日(日)、南区健康福祉センターを会場にフォーラムを開催しました。

少子高齢化、核家族化、プライバシーの重視などを背景に、地域や家庭におけるつながりとささえあい機能が低下し、孤立する人が増えています。

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくために、今地域に求められていることは？南区内で行われている住民主体の活動事例を紹介しながら、これからの地域づくりについて考えました。

基調講演では、新潟医療福祉大学専任講師の青木茂氏から「地域包括ケアシステムの構築～私たちができることは～」と題して講演がありました。団塊の世代が2022年～24年に後期高齢者(75歳以上)となる(2025年問題)後期高齢者人口は、2179万人と推計され、現在のサービスや仕組みだけでは成り立たないと予測される。「介護・医療・予防・生活支援・住まい」の5つのサービスが一体的に提供されるしくみが地域包括ケアシステムで、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための地域づくりが必要で急務である。とはいえ、

既に地域ではさまざまな見守り活動、サロン活動などが繰り広げられ、成果をあげている。今まで以上にこれらの活動が大きな役割を果たし、より一層広がり、充実していくことが期待されていると説明されました。

続いて、「高齢者の生活を地域で支えるしくみづくり～月満買い物支援を通して～」と題して南区社協の神林コミュニティソーシャルワーカーが実践報告を行ないました。「車に乗れないひとり暮らし高齢者が買い物に困っている…」「娘さんや親戚が一週間まとめ買いをしてきているが大変そう」など民生委員や地区社協役員の気づきから買い物弱者への支援策を検討。平成23年に「買い物支援検討会」を立ち上げ、2回のアンケート調査で実態を把握し、区内のスーパー、コンビニに要望書を提出するなど2年の準備期間を経てようやく昨秋11月から移動販売がスタート。高齢者の閉じこもり予防や、地域住民同士の声かけ、支えあいなど様々な移動販売の効果や今後の取組みについて報告がありました。

パネルディスカッションでは、「安心して暮らし続けられる地域づくり」と題して、大通二丁目自治会長の鈴木弘行氏、東萱場自治会長の吉沢勝美氏、月満自治会長の田辺金一氏からそれぞれの取組みについて発表がありました。



講師：青木コーディネーター



## 月満自治会

会長  
田辺 金一氏

### 【地域の特徴】

- ・月満地区8自治会に属する
- ・同居率は高いが日中独居の高齢者が多い
- ・ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯が急増
- ・地区内にスーパーやコンビニがない

### 【これまでの見守り活動】

月2回、班長が配布物を届ける際、郵便ポストに入れたり、留守宅に置いてくるのではなく、直接手渡しをし、変わった様子がないか確認、声かけをするようにしている。

### 【自治会の目標】

誰もが安心して暮らせる自治会  
月満に住んでよかったと思ってもらえる自治会

### 【これからの取組み】

月満地区では、まだ五軒組が機能しているので、移動販売に来られない人に対して声かけや御用聞きなどにも活用したい。  
また、空き家を利用したサロンの開設をめざしている。



## 大通自治会

会長  
鈴木 弘行氏

### 【地域の特徴】

- ・大通地区12自治会の属する
- ・1丁目とともに一番古い自治会
- ・大通地区の中では高齢化が進んでいる
- ・子供が少ない

### 【これまでの見守り活動】

老人クラブ活動の一環として、会員同士の見守り活動を2ヶ月に1回実施し、声かけ、安否確認を行っている。

### 【自治会の目標】

防災面からも高齢者が安心して暮らせる自治会  
自治会の活動を活発にし、多くの住民が参加する自治会

### 【これからの取組み】

回覧板や配布物を届ける際に、ひと声かけあったり、幼い子どもを含めて世代を超えた見守り活動に取り組みたい。  
また、地域の5自治会で4月に実施する桜灯ろうまつりを世代間交流の場となる催しにしていきたい。



## 東萱場自治会

会長  
吉沢 勝美氏

### 【地域の特徴】

- ・茨曾根地区8自治会の属する
- ・農業従事者が多い
- ・住民が各世帯の状況を把握しているほど、自治会内での人のつながりが強い

### 【これまでの見守り活動】

民生委員及び地区社協役員による年数回の安否確認、訪問活動  
隣近所のつながりが強いので、自然に見守りをしている

### 【自治会の目標】

元気な高齢者が率先して支援を要する高齢者を支えられるような自治会  
高齢者同士の支えあい、見守りができる自治会

### 【これからの取組み】

高齢者の在宅マップを作成して地域の状況が把握できた。マップを活用しながら、元気な高齢者が見守りの必要な高齢者を見守るような意識づけをしたい。

～高齢者等あんしん見守り活動事業について、社会福祉協議会が関係機関と協働して自治会の見守り体制づくりを支援いたします。お気軽にお問い合わせ・ご相談ください～



### 《福祉学習支援ボランティア養成講座》

学校などで行う福祉学習をサポートするボランティアを養成するため、2月6日(木)、白根学習館にて「福祉学習支援ボランティア養成講座」を開催しました。

- ・新潟医療福祉大学の青木 茂 氏による講義「これからの福祉教育について」
- ・臼井中学校 地域教育コーディネーター 成沢 超子 氏による実践発表
- ・株式会社ニチイ学館 河田 恵理 氏による講義「肢体不自由の方や視覚障がいの方の理解」、「車椅子の操作と視覚障がいの方の歩行誘導について」の実技体験と盛り沢山でしたが、当日は20人の参加がありました。

まず青木氏から「福祉教育は、大人も学びが必要。地域で起こっていることに関心を持ってほしい」と講義を受け、各自が「地域課題の関心度チェック」にチャレンジ。その後2人1組になった参加者は、目隠しをして杖をついて歩いたり車イスで段差を越えるなど、介助する側とされる側のそれぞれの立場を学びました。

参加者からは、『地域との関わり方の手法についてヒントを得た』『講義を聞いてからの体験はとても勉強になった』などの感想をいただきました。



### 《災害ボランティアセンター設置訓練》

3月9日(日)、白根学習館で「災害ボランティアセンター設置訓練」を開催しました。

平成23年に策定した設置マニュアルをもとに、白根青年会議所との共催で50名が参加。にいがた災害ボランティアネットワーク理事の鍋嶋弘樹さん、佐藤貴規さんを講師に迎え、「協働型災害ボランティアセンターの意義」について学びました。

続いて、センター設置を決定する本部会議の模擬訓練、その後は、全員が5つ（総務・ニーズ・受付・マッチング・送り出し）の班に分かれ、各班ごとに役割りと仕事の内容について確認します。そして、班ミーティングで決まったことを、班長会議で報告し、全体で情報共有を図りました。昼には、南区赤十字奉仕団の皆さんによる炊き出し（炊き込みご飯と豚汁）をいただきました。

そして午後からはいよいよセンター運営のシミュレーション訓練です。ブースの設営後、ボランティアを受け入れました。被災者からよせられたニーズと、受付を終えたボランティアを調整するマッチング班。スコップなどの資材を管理し、ボランティアに活動先を伝える送り出し班。マスクみやクレーム対応など、さまざまな相談を受ける総務班。

交代でボランティアや被災者役と、スタッフ役をそれぞれが体験しました。

最後に班ごとでのふりかえり。ここで出された、たくさんの反省点や課題をきちんと整理して、マニュアルに反映させなければいけません。

行政・JC（青年会議所）・日赤・社協がそれぞれの立場で学んだこと、そして平時のつながりの大切さを実感できる良いステップとなりました。



### 《‘おひとりさま’のクッキング教室を開催しました！》

2月22日(土)午後4時から、白根学習館を会場に独身者向けのお料理教室を開催しました。第1部は、季節の野菜を使ったお鍋と生姜とひじきのたっぷり入った炊き込みご飯を作りました。簡単に作れるお料理を和気あいあい楽しみながら調理されていました。

「どちらから?」「お料理はよく作れますか?」などコミュニケーションも盛り上がり、お鍋もご飯も美味しくいただきました。

第2部は、区内のおしゃれなダイニングバーへ移動して、美味しいお料理と美味しいお酒を飲みながら、他己紹介を通して話が盛り上がり、各々連絡先の交換をし合ったり、2時間があっという間でした。

参加された方から、「簡単に作れる料理だったので、自分でも作れるかも!」「また今回のような企画をやってほしい」「出会いの場がほしい!」などストレートな感想をお寄せいただきました。料理教室を通して、栄養のことや健康のことについて関心を持ちつつ、交流パーティも大いに楽しんでいただきました。



生姜ひじきご飯

蓮根入り団子鍋

## 子育てサロン交流会を開催しました

3月17日(月)、老人福祉センター白寿荘を会場に子育てサロン交流会を開催しました。12組の親子(14人のお子さん)と関係機関(サロン主催者、主任児童委員、子育て支援センター職員、子育てオーエンジャー☆みなみメンバー、児童センター・児童館職員、区役所児童福祉係担当)が一堂に会し、講演会と親子あそびを楽しみました。

新津子育て支援センター育ちの森、椎谷照美館長から「完璧な親も子どももない～気持ちを楽に～」と題してお話をいただきました。子ども自身が「自分は大切な存在なんだ!」「自分はかけがえのない存在なんだ!」と思える自己肯定観が大事。そして母親の心の安定が大事。子育てで追い詰められないことがないようにいろいろな機関に相談してほしい。講演中は親子分離し、お子さんを保育サポーターに預けて、ママたちは子育てのアドバイスを熱心に聴いておられました。



講演後は、カフェタイムでほっと一息ついて、引き続き、椎谷館長から親子いっしょに楽しめる手あそびやダンス、あんばんマンのエプロンシアターなど大いに盛り上がりました。

### 参加者の声

親の心の乱れが子どもの行動に表れるのだと思い、これからはもっと気軽に子育てに取り組みたいと思います。

わかりやすく0歳から3歳までが大切な時期だと説明していただき、ありがとうございました。

お願いされればいつでも欲しいものを買ってあげたことの反省と、ぎゅっと抱きしめてあげることの大切さについて、とても勉強になりました。

親子あそびは子どももノリノリで楽しんでいたので、嬉しかったです。

保育がある講座は助かります。また次回も参加したいです。



## にいがたし 元気カアツプ・サポーター募集中!

お問い合わせは  
南区社会福祉協議会 TEL 373-3223

新潟市内在住の65歳以上の方が、サポート活動を通じてご自身の介護予防の促進といきいきとした地域社会づくりを目的とした事業です。活動した時間によってポイントを付与し、獲得したポイントに応じて翌年に最大で5,000円の交付金を受け取ることができます。

- ◆活動内容：お茶出しやお話相手、食堂内の配膳・下膳の補助、施設行事のお手伝い、レクリエーションの補助など
- ◆活動場所：特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、ショートステイ、グループホームなど

### 登録説明会のご案内

- 開催日：4月10日(木)、5月8日(木)、6月12日(木)  
ご都合の良い日に、1回だけ受講してください。  
毎月第2木曜日に開催。7月以降も実施します。
- 会場：南区社会福祉協議会 ※4月より、下記に移転いたします。  
南区上下諏訪木817-1 旧白根健康センター
- 時間：13時30分～15時
- 参加費：無料
- 申込み：開催日の2日前までにお電話でお申込みください。  
◎出張研修も可能です。5名以上でお申込みください。

### ●モデル事業を実施します●

現在、サポーターの活動先は介護施設に限定されております。今後、サポーターの活動先の幅を広げていくため、保育園と障がい施設をモデル施設として、実施することといたしました。下記の施設での活動をやってみたい!と思う方、または興味のある方は、下記の申し込み先までお問い合わせください。

#### ●保育園

- 月潟保育園 新潟市南区西萱場1565
  - 園庭の畑のお手伝いをして下さる方
  - 縫い物の制作  
お手玉、おまもごのお布団、おんぶひも、など
  - 腹話術、人形劇などを披露して下さる方、または団体



#### ●障がい施設

- ワークセンターしらはす 南区戸石45-2
  - 楽器演奏を披露して下さる方
  - お掃除をして下さる方
  - 利用者の散歩の補助をして下さる方



#### ◎お申込み、お問い合わせは…

秋葉区社会福祉協議会(担当:皆川) TEL 0250-24-8376

## ボランティア伝言板

### ボランティア活動保険

ボランティア活動中の様々な事故によるケガや賠償責任を補償します。個人・グループは問いません。

- ボランティア活動保険：1人300円(基本タイプAプラン)  
加入申込書・加入者名簿と現金を添えて、センターへお持ちください。
- ボランティア行事用保険：1人一日28円(最低加入人数20人)  
加入依頼書と保険料払込票をお渡ししますので、郵便局でお振込みのうえ、センターへお持ちください。

### ボランティア活動支援助成金

福祉活動に関わるボランティア団体・グループ等で、公の援助がないか、または十分でない事業に対して、社会福祉協議会で助成金を交付しています。

- 助成金額：1団体あたり 10,000円まで  
(申請以前に1~2回以上の活動実績が認められること)
- 申込方法：交付申請書をH26.12月までに提出してください。
- 助成決定：南区社会福祉協議会で審査・決定し、必要と認められた事業とします。

### ボランティア連絡協議会に加入しませんか?

ボランティアグループ同士の交流等を目的とした「南区ボランティア連絡協議会」。現在65団体が加入しています。ボランティア研修会や福祉フェアを通して情報交換をしたり、お茶の間サロン活動の支援を行っています。

- ◆どんなグループが加入しているの?
  - ◆他のグループは、どんな活動をしているの?
- 興味がある方はボランティア・市民活動センターへお問合せください。

お問合せは 南区ボランティア・市民活動センターまで TEL 373-3223

### 連絡先

社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会 南区社会福祉協議会

新事務所 〒950-1214 新潟市南区上下諏訪木817番地1  
TEL.025-373-3223 FAX.025-373-6125